

百歳おめでとうございます

一階介護病棟入院中の滝瀬智子様が1月5日、100才のお誕生日を迎えられました。

1月6日、桶川市より市長代理の方が来院し、御家族様にも来ていただき1F談話室にて表彰状が送られました。お孫さんが育てた胡蝶蘭を背景に御家族様と記念撮影を行いました。娘さんが「今日のお祝いわかっていようだ」と話されていました。今後も、健康状態に気を付け療養生活を送れるよう援助していきたいです。

(一階病棟 主任 中川 千寿子)



新規導入 “16列マルチスライスCT” の紹介



平成26年12月より導入しました東芝製マルチスライスCT<Alexion>は、1mm幅×16列のX線検出器を持ち、広範囲を短時間で詳細に撮影することができます。これにより患者様の負担が少ない検査が可能となるとともに、動きの影響を抑えた高品質の画像を提供できます。

また薄いスライスで撮影することにより、診断上必要な場合は通常の横断面の他に任意断面での再構成(MPR)や3D画像なども簡単に作成することが可能であり、特に骨の3D画像はレントゲン撮影では分かりにくい微細な骨折線の描出にも威力を発揮します。

さらに被ばく対策に関しても、最新ソフト【AIDR3D】の搭載をはじめとして低線量化に取り組んでおり、従来のシングルCTと比べ75%の被ばく低減効果を実現しております。

この度のCT装置導入によって、さらなる医療の質の向上と地域医療の発展に貢献できるものと確信しております
放射線科 知高敏明



「川島ウオッチング」手に取って開いてみて下さい

川島ウオッチングという手作りの冊子を目にしたことはありませんか。これは若返り脳講座(川島町の認知症予防プログラム)に参加された6名のグループで作成しているものです。図書館やインターネットで調べたり、住民に取材してパソコンで手作りしています。パソコンの電源の入れ方も分からなかった方もお互いに学び教え合い作成しています。川島町の様々な情報が得られますのでどうぞ手に取ってご覧ください。役場、図書館、町民会館、公民館、JA、やすらぎの郷、直売所や病院、施設などにおいてあります。

また、読んだ感想など伝えていただくと励みになると思います。



訪問リハビリの紹介

訪問看護ステーション平成の森では訪問リハビリテーションを行っているのでご紹介します。

今回、1日のスケジュールを例として挙げさせていただきました。理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)となっています。身体機能や日常生活動作(起き上がり、立ち



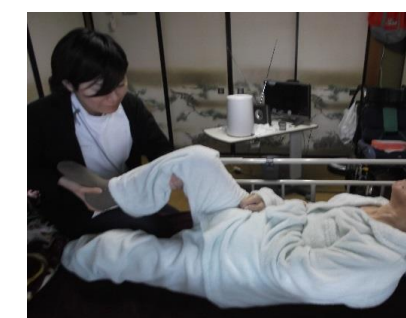
上がり、歩行、食事動作、更衣動作など)の維持・向上を目的にリハビリテーションを行うことや言葉によるコミュニケーション(言語・聴覚)や飲み込みに問題ある利用者様に対してのリハビリテーションを行っています。

その他にご自宅で過ごしやすい生活するために環境設定を整える(動きやすいように家具の配置を変える、手すりを設置する、褥瘡予防や食事時のポジショニングなど)ことや、福祉用具(杖、手すり、車椅子、ポータブルトイレなど)のレンタル、購入の検討などを行っています。

訪問に行かせて頂いてから利用者様やご家族様のお話を傾聴することが本当に大切なことだなと感じます。ささいな日常会話の中にも困っていることや、やってみたいことなどのヒントがあるからです。朝など体が動きにくく、靴下がうまく履けない利用者様に靴下を履きやすくするための道具作成やベッド⇄車椅子の移乗動作がうまくいかないご家族様には移乗動作の介助方法をお教えすることがありました。利用者様やご家族様からお話があれば、その都度検討していますが、遠慮がちな利用者様やご家族様も多くいます。そのため、話をしやすい環境を作り、ニーズを見つけ出ししていくことが大切なことだと訪問を始めてから感じています。

詳細やご相談などありましたら、訪問看護ステーション平成の森までご連絡下さい。

(理学療法士：石橋亜希子)



↑拘縮予防のためのストレッチを行う様子。

訪問リハビリテーションの一日



午前

8:50~9:00

- ・訪問看護ステーションにてスケジュール確認
- ・準備

9:10~12:00 (午前3件)

- ・利用者様宅へ行き、リハビリ開始
- ・午前業務終了後、利用者様の状態を報告



午後

13:30~17:00 (午後3件)

- ・利用者様宅へ行き、リハビリ開始
- ・午後業務終了後、利用者様の状態を報告



つるし雛展示のご案内

今年も、桶川市で、活動しています「朝日つるし雛サークル」の皆さんにご協力を頂き、玄関前を、可愛らしく飾り付けを行います。

日程：2月28日(土)～3月13日(金)

場所：病院正面玄関内

